

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	友好都市交流促進事業					
担当部署・課長名	地域振興	課	市民協働	係	課長名	大法 努

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	5 - 4	-
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立	総合計画書 (ページ)	113	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	地域振興費	事業 2	都市交流事業費
-----	-----	-----	-----	-------	------	-------	------	---------

1	この仕事の目的	<b>① 誰(何)を対象にしていますか。</b> 市の区域内に在住・在勤・在学する小学生以上の者で構成された、市が指定する団体	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)</b> → 0団体
		<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 5年継続したが、友好都市との友好を深めるのに、当事業が効果的かどうか事業内容について方向性及び見直しを図っている最中である。	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)</b> → 実際に当事業で喜多方市と交流した東大和市の人数
		<b>③ そのために何をしましたか。</b>	<b>③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)</b> → ①年0回 ②年0回

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	1	1	-	/	/
		成果指標	②の数値	人	30	19	-	/	/
		目 標	②の目標値	人					
			目標値設定の考え方	予算上における交流促進事業費の積算人数					
活動指標	③の数値	回	2	2	-	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	169,000	156,000	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	169,000	156,000	0	
			特定財源	円	0	0	0	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.0	
			所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
			職員人件費(再任用以外)	円	3,306,800	3,301,200	0	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
	事業費+人件費	円	3,475,800	3,457,200	0			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成24年4月27日に東大和市と喜多方市は友好都市協定を締結し、その後、喜多方市と東大和市の交流を促進する目的で、喜多方市の提案及び旅費負担により平成25年度から3年度期限で事業を開始した。平成28年度に見直し、両市で旅費を負担し合い事業継続することになった。さらに平成30年度中に再度見直しをすることになった。 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

仕 事 の 内 容	友好都市交流促進事業				
担当部署・課長名	地域振興	課	市民協働	係	課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし。				

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 団体選定について、両市共通する団体を探すのが困難であること。両団体の日程調整も難しい。また、特定の団体の一時的な交流になり、事業後の団体同士の交流も難しいため、喜多方市と、事業目的や対象・内容など事業の見直しが必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 喜多方市と見直しに着手。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 多摩湖駅伝に喜多方市をゲスト参加していただいていることを受け、喜多方市は小中学生を招待したいとの意向があり、調整中。				

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 東大和市とのスポーツ交流で、継続的に交流が図れるような方向で、調整を継続する。今後、意向が合致しなかったり、了承を得られる団体がいない場合もあるため、両市歩み寄りながら調整する必要がある。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
	成果	成果を維持する。			経費